

会議結果概要書

1	会議名	令和6年度第1回名寄市上下水道事業経営審議会
2	開催日時	令和6年8月22日（木）午後6時30分から午後7時35分まで
3	開催場所	駅前交流プラザ「よろーな」2階 会議室3
4	委員	<p>山上会長（○）、臼田副会長（○）</p> <p>橋場委員（○）、川瀬委員（×）、栢山委員（○）、伊豆倉委員（○）、吉川委員（○）、久保委員（○）、藤島委員（×）、清水委員（○）</p> <p>※委員10人中8人出席</p>
5	事務局	<p>橋本副市長</p> <p>東建設水道部長、佐藤上下水道室長（兼建設水道部次長）、有門工務課長、池田浄水場長、大沼下水処理場長、成毛業務課長、小笠原業務課主査、坂上業務課主査、成田業務課主査、中島業務課主査</p>
6	議題等	<p>報告1 水道スマートメーター化・水道ポータル導入事業について</p> <p>協議1 上水道・下水道 料金水準見直し（現在の経営状況と今後の見込み）</p>
7	会議結果	<p>○委員交代に伴い、委嘱状を2名に交付。</p> <p>○報告1 水道スマートメーター化・水道ポータル導入事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道スマートメーター化事業及び水道ポータル導入事業の進捗状況等について報告する。 <p>○協議1 上水道・下水道 料金水準見直し（現在の経営状況と今後の見込み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の水道事業と下水道事業における経営状況と今後の見込みについて説明する。 <p>※主な質疑・意見等については別紙1のとおり</p>

令和6年度第1回名寄市上下水道事業経営審議会 主な質疑・意見等

○報告1 水道スマートメーター化・水道ポータル導入事業について

問 水道ポータルの活用により、郵送料など経費削減ができるようになるのではないかと。

答 水道ポータルを導入し、デジタル化していくことで、スマートフォンで各自料金等を見れることになるので、検針票の郵送代や紙代を削減できるかと考えられますが、まずは皆さんが水道ポータルを広く利用してもらえるように取り組んでいき、検針票の送付などを段階的に止めていければと考えている。今後は、広報などで幅広く周知を行い、水道ポータルの利用率がある程度上がってくれば、経費削減について考えていきたい。

○協議1 上水道・下水道 料金水準見直し（現在の経営状況と今後の見込み）

問 民間委託を導入するとコスト増となるようだが、導入するねらいは何か。

答 窓口業務の中で、料金関係、滞納整理、収納業務、検針業務などについて民間のノウハウを活用できないかと検討しています。市の職員は人事異動があり、経験者がいないと一からの習得が厳しい面がある状況で、民間のノウハウで業務を効率的にできれば、安定した業務運営が図れると考えています。市役所の話になってしまいますが、人材不足で育成していくのが厳しい状況であり、委託した分の人材が確保できれば、他の部署に配置していくことができるものと考えています。また、コストについては、民間とはいえ利益がなければ続かないので、きちんとした体制でやっていただくと、どうしてもコスト増となってしまうが、継続性を重視して、ある程度の費用が見込まれることになるのでご理解いただきたい。ただ膨大な利益にならないように、経営面に気を付けながら、全部を委託するのではなく、まずこの部分を民間のノウハウで活かしていきたいと考えているところです。

問 今後の経営におけるシュミレーションでは、かなり経費削減を検討されたようだが、施設設備の老朽化や管路の更新などは経営にどのように影響するのか。

答 老朽化などの工事は追いついていない状況だが、予算は青天井にならない。令和元年度から拡張事業で自衛隊の門の前まで配水管整備は完了しましたが、他の工事の部分を抑えている状況。会計側としては、今後、重要度を加味した上で調整して実施していきたい。長期的には支出も増え企業債も増えていくことは判明していますので、精度の高い計画を組みながら実施していく必要があり、今後の課題として考えています。

問 人口減少で将来的に使用水量は減少する。ダウンサイジングを考えての経費削減となっているのか。

答 業務課としては、今後、ある程度の精度の高い計画をもって実施していかなければならないと考えています。人口減少はどうしても避けられないですし、使用水量は益々減少す

ることも想定していますので、今後の予算組みや経営戦略の中で考えていきたい。

ダウンサイジングの関係ですが、近年、名寄川からの取水する緑丘浄水場においては、水質が大雨時に悪化するものですから、取水や給水停止とならないように、多い水量を確保している状況であります。また、配水池は多少老朽化していますが、まだ使用可能であり、今すぐダウンサイジングではなく、災害のことも考えて、余裕をもって貯水などの備えをしていきたいと考えています。なお、施設の老朽化などで建替える時には、人口なども考慮してのダウンサイジングを考えていきたい。また、緑丘以外の浄水場については、一律で配水量が減少している状況は見られないですが、総合的に判断しながら、各浄水場の在り方についても考えていきたい。